

親子聖書日課

NO.1895 2025.1/19-25

名前

[日]「主を畏れることは宝」とは、この宝さえ身につけていればどんな時にも輝いて生きられます。主を畏れるには、神第一の生活を送る事です。礼拝・祈禱会に参加し、奉仕に励み、献金を精一杯捧げるなら、主の祝福と知恵が与えられます。

[月]「主は我らを裁かれる方」なら、罪を犯す私達には滅びしかありません。しかし「主は我らの王となって、我らを救われる」のです。それは主が私達に代わって十字架にかかり、罪を贖われたからです。「都に住む民は罪を赦される」とは感謝!

[火]教科書・辞書はよく改訂されます。完全ではないからです。しかし、聖書は違います。「一つも欠けるものはない」のです。それは全知全能の主が語り、主の霊が導くからです。神の約束は必ず実現しますから、疑わないで聴きましょう。

[水]「祈ってもあの人は救われない」と弱気になっては、悪魔の思うつぼです。「弱った手に力を込め、よろめく膝を強くせよ」とは、諦めないで祈る事です。その為に、祈禱会があります。祈りの友がいると、勇気百倍です。祈禱会に出席しましょう。

[木]議論に対する最善の答えは、沈黙です。ラブ・シャケの耳ざわりのよい言葉に、人々は沈黙しました。主イエスはピラトの前では一言も応えません。沈黙は祈りです。人を救いに導くのは、議論ではなく、祈りです。祈りこそ、最大の伝道です。

[金]危機に直面した時、ヒデキヤは「主の神殿に行って、主に訴えましたから、主はその祈りに応えられました。問題が解決してから教会へ行くのではありません。「重荷を負う者は、私の所に来なさい」と言われた主の下へ今すぐに行きましょう。

[土]「再び根を下ろし、上には実を結ぶ」とは、主の救いに与った者は豊かな繁栄に与ることができるとの主の約束です。但し、その人は「難を免れた者」主に忠実な者であることです。主に忠実であれば、根を下ろし、自然と実を結ぶことができるのです。



	聖書	問題	答え
日	イザヤ 33:1-16	主をどうすることは、宝ですか。	
月	33:17-24	都に住む民は罪をどうされますか。	
火	34:1-17	ひとつも欠けるものはないのは、どんな書ですか	
水	35:1-10	弱った何に力を込め、よろめく何を強くすべきですか。	
木	36:1-22	彼らは押し黙って、ひと言もどうしませんでしたか。	
金	37:1-20	ヒデキヤ王はこれを聞くと衣を裂き、どこへ行きましたか。	
土	37:21-38	シオンの山から、どんな者が現れ出ましたか。	
	感想と祈りの課題		